

お告げのマリア修道会 まごころ会

2024年5月
Tel.095-846-8300



QRコードから
アクセスして
下さい

『わたしは主のはしのためです。
お言葉どおり、この身になりますように。』

令和六年度 サブテーマ

「**霊的遺産 再発見と分かち合い**」

令和6年度、初めての院長会が4月13日
(土)〜4月15日(月)まで行われました。
今年度は、「**霊的遺産 再発見と分かち合い**」
をサブテーマに私たちお告げのマリア修道会
がいただいているお恵み・霊的遺産を見つめな
おし、そのお恵みをより多くの方々に分かち合
うことを目標に歩みを始めました。

院長会2日目にはカリスマ委員会の主催
で全会員を対象に「修道会の創立のカリスマ」
をテーマにイエズス会の菅原神父様の講話が
あり、私たちはどんなイエス様の姿に一番心惹
かれるのか、どんなイエス様に倣いたいかを分
かち合いました。今年度もお祈りでのお支えを
よろしくお願いいたします。



まごころ会会員帰天、お祈りください

・マリア 戸村チヨミ様 鯛の浦教会

5月3日〜6日 「長崎教区クルシリヨ」
お告げの本部にて開催されますので参加され
る皆さんのためにお祈りください。

CMAファミリー・カプア友の会が発足しました

「子供たちの笑顔と未来のために」



昨年度、4月に始めたフィリピン、アライ・カプア教育財団の支援活動ですが無事に1年を終えることができました。私たちも手探りでの支援活動でしたが、多くの方々に様々な形で支えていただき、フィリピンの皆さんと喜びを分かち合うことができました。

この度、支援活動を息の長い、継続的なものとするため、「CMAファミリー・カプア友の会」を発足しました。皆様からの支援は、子どもたちの「給食サービス・遊びの部屋」の費用として活用されます。

支援の方法

1. 継続的に支援する
1□ 五〇〇〇円/年
※お一人様何口でもお申し込みいただけます。
2. 一時寄付

支援金の振込先

十八親和銀行 本原支店
普通：3094544



CMAファミリーカプアの会代表林さゆり

シーエムエアライカプアアットモノカイタイヒョウハヤシサユリ

継続的に支援して下さる方は

1. ニュースレターKaibigan ni Alay Kapwaを5月、10月にお届けします。
2. 入会時、翌年からは5月のニュースレター発行時にアライ・カプアの手作りの製品の中から1点お送りいたします。中身はお楽しみです。

お申し込み方法

CMAアライ・カプア友の会の入会を希望される方は①〜③のいずれかの方法でお名前・ご住所・お電話番号・メールアドレス（お持ちの方のみ）をお知らせしてください。

- ① 電話：095-846-8300（お告げ本部）
- ② FAX：095-842-0079
- ③ 下のQRコードを読み込んで、必要事項を入力し送信して下さい。



2月23日～27日高校生男子とそのお母さんが体験学習に参加しました。その時の感想です。

アライ・カプア体験学習に

参加して



K・K (高校2年生男子)

私はフィリピンボランティア活動を通して3つのことを学びました。1つ目は世界の広さです。私は毎日同じように寝て起きてご飯を食べ学校に行きダラダラ過ごしています。しかしベッドで寝たり、ご飯を食べられると言う事は当たり前では無いことを実感しました。これはよく世界に困っている人がいる話などを聞くときにセットで聞く話ですが、現実を突きつけられれば、その深刻さがより心に來るものでした。自分より貧乏な生活を送っている人もいれば、逆にとても貧しく日々を過ごしている人もいます。この当たり前の日々に感謝することができるよう人間になれるよう努力していきたいです。

2つ目は挫折することの意義です。フィリピンに向かう飛行機で前の席に座っている外国人に話しかけられました。何を話しているか全くわからず話すことができませんでした。フィリピンでコミュニケーションを取ることでできるか不安な気持ちになりました。案の定全く話すことはできず、自分の無力さを思い知らされました。それを受けて考え方が変わりました。今まで通りの同じやり方では、いつか環境が変化したときにうまくいかなくなるのではないかと思いました。常に変わろうと努力をして上を目指すこと、今の自分に満足する事はダメなことではないと思います。いつか自分の力では解決することができない問題に出会ったとき、挫折して乗り越える力を身に付けることが挫折する意義だと考えます。

3つ目は感謝です。今回のボランティア活

動を通してたくさんの方々をサポートしてもらいました。特にシスター林とシスター梅木です。このお二人がいなかったら、もう海外に行く事は絶対にやめようと心に誓っていたことでしょう。ただただ生きて何もしなかった日々を過ごしていたと思います。そんな中、自分がまたフィリピンに行きたい。英語もいちから頑張ろうと思えたのは、シスターお二人がたくさんお世話をしてくれたからです。今までは何かしてもらったら機械的に感謝を伝えることもありました。たった五文字のありがたい言葉に感謝の気持ちに乗せる事は容易なことではないと思います。心のこもったありがたいは、人の心を温かくすることが出来ます。これからは感謝の言葉をしつかり心を込め、感謝の意味をもっと模索していきたいです。

実際にこのボランティア活動でたくさんのかつことを学び経験しました。夜遅くまで子供たちが外で遊んでいること、鶏が散歩していること、初めて見る料理、景色、



バイリンガルの女の子、何もかも自分の日常で見ることのできないとても貴重な光景ばかりでした。それと同時に初めての海外、何百もある国の中で、日本を含めまだたった2つの国しか自分の目で見ていない。自分にとってまだまだ初めてのことが星の数ほどあることに驚きを隠せません。神様の力はどんなに偉大なものなのでしょう。驚くのはまだ早すぎるかもしれません。これから驚くためにも少しずつ頑張って挫折して自信をつけていきたいと思えます。また誰にでも感謝のできる素直な人間になれるよう、日々の感謝を忘れずにあるがとうを見出そうと思います。本当にありがたいまごいしました。これからもよろしくお願ひします。